

はじめに

心エコー検査は心臓の構造と機能を非侵襲的に可視化して評価することで臨床診断や治療方針の決定にとっても役立ちます。しかし、明瞭に描出し、観察と計測を行い、ガイドラインや教科書に従ってレポート作成まで行きつくことは決して簡単ではありません。

これまで心エコーを解説した書籍は多数出版されていますが、プローブの持ち方からレポート作成までを取り上げたものは見当たりません。本書は、検査の流れに沿って重要ポイントを中心に丁寧に説明するとともに、シェーマと具体的な計測方法や説明を加えた静止画だけでなく、その動画を供覧することで分かりやすく実践に役立つように企画しました。さらに、多くのセミナーや技術指導で使用したスライド資料を基にして、本書作成時の最新のガイドラインに準拠するだけでなく、過去のガイドラインであっても実践に役立つと思われる基準も取り上げています。

スライド資料を用いて説明している内容を文章でわかりやすく表現するのは一苦勞でしたが、羊土社編集部の鈴木さんや中島さんの多大なるご支援とアドバイスで完成できたことに心より感謝しています。誤解を招く表現や評価には十分注意して校正を行いました。疑問に思った場合にはご意見いただければと思います。

診断基準や評価方法も日進月歩で変化していますので、教科書だけでなく最新のガイドラインにも目を通していただきながら、検査のときに本書を手元に置いて患者さんの診療に役立てていただければ幸いです。

2021年2月

医療法人 末次医院 循環器内科/NEC医療ソリューション事業部

野間 充

